

主 題	建設工事関係者連絡会議による現場パトロール		
開催日	平成28年11月17日	主催	建設工事関係者連絡会議
パトロール実施者	長崎労働基準監督署、県振興局 及び市及び建設業労働災害防止 協会長崎分会 計17名	場所	長崎市尾上町地先 長崎県庁舎議会棟新築工事現場

開催の目的（趣旨）、概要

平成28年の当署管内における建設業の死傷災害は、9月末時点で55件発生し、前年同期の49件を上回っております（下記の「表1」を参照）。さらに、本年7月から9月にかけて、高所から墜落・転落し、死亡や意識不明等重篤な労働災害が立て続けに発生（下記の「表2」を参照）したことから、本年12月31日までの期間を「墜落災害防止強調期間」と位置づけ、重点的な監督指導等を取り組んでいます（別添）。

これらのことから、建設工事関係者連絡会議の構成員（各公共工事発注機関、建設業労働災害防止協会長崎分会、長崎労働基準監督署）で、長崎市内で施工されている長崎県庁舎議会棟新築工事現場のパトロールを行い、公共工事における労働災害防止の啓発を行いました。

概要

始めに長崎労働基準監督署長（署長：池田康廣）から「管内の建設業における死傷者数は、平成27年まで3年連続で減少していた。しかし、本年9月末現在で、前年同期より6件増加している。そのため、災害を減少に転じさせるよう、発注者及び建災防と連携し、労働災害防止対策の推進を図っていきたい。」と、挨拶しました。



（署長挨拶の様子）

その後、建設工事関係者連絡会議の構成員（各公共工事発注機関、建設業労働災害防

止協会長崎分会、長崎労働基準監督署）で、現場パトロールを開始しました。

パトロールでは、主に次の事項を点検・確認しました。

- （1）開口部における手すりの設置等の墜落防止対策
- （2）足場における手すり、中さん及び幅木の設置等の墜落防止対策
- （3）型枠支保工（パイプサポート等）における倒壊防止対策
- （4）建設資材及び建設工具等の整理整頓
- （5）通路の表示等による安全通路の確保
- （6）作業場所及び階段部分等の照度の確保

現場パトロール終了後、公共工事発注機関の発注担当者から「現場全体で整理整頓が行き届いていたので、無事故で工事を進めてほしい。」と講評がありました。

続けて、建設業労働災害防止協会長崎分会の安全指導員から「各階の清掃、資材の整理整頓、階段部分の照度の確保について良好であった。一部の足場で幅木が設置されていない箇所があった。」と講評がありました。

最後に長崎労働基準監督署長から「現場内の整理整頓が良好であった。これからもこの状態を維持して欲しい。分割発注であるため連絡調整を密に行い、労働災害防止対策に取り組んでほしい」と、講評しました。

長崎労働基準監督署では、年末年始による人手不足及び資材高騰で、建設業における労働災害の増加が懸念されることから、関係機関と連携を図り、墜落・転落等による労働災害のない安全・安心な職場環境づくりに取り組んで参ります。



(現場パトロールの様子)